

コミュニティ・スクール (地域連携)に関する研究

教職実践講座
教授
森 保之

キーワード

・地域とともにある学校づくり ・学校運営協議会制度 ・共育

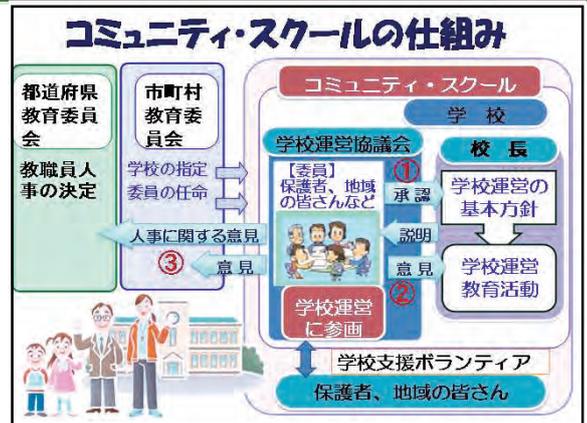
研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)

私は、学校・家庭・地域の三者の連携・協働による学校経営・運営に関する研究を行っています。

学校や子どもたちが抱える課題や家庭・地域社会が抱える課題を地域ぐるみで解決し、子どもたちの健やかな成長と質の高い学校教育の実現を図るため、地域の力を学校運営に活かす「地域とともにある学校」をめざすことが重要です。その実現のための取組の一つとして、法律に基づいて保護者や地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールがあります。(「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第45条の5・平成16年6月)

私は、平成17年度から公立小学校の校長として、3年間、九州で初めての「コミュニティ・スクールの開発研究」に取り組み、

「日の出小課題別コミュニティ」といった実働組織をつくり、「協働責任分担方式」の学校運営協議会制度の開発を行ってきました。以来、文部科学省主催のコミュニティ・スクール教育フォーラムでその取り組みを発表したり、全国コミュニティ・スクールの推進大会での指導助言や講演・講話をしたりしています。また、コミュニティ・スクールを立ち上げている小中学校の学校運営協議会の学識経験者という立場で学校運営協議会委員を行い、各校のコミュニティ・スクールの推進役を担っています。



成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

現在、全国でコミュニティ・スクールを導入している学校が、昨年から470校増の2389校(平成27年4月現在)になっています。なお、コミュニティ・スクールに類似する取り組みは、この3年間で約2000校増え、5135校で行われており、コミュニティ・スクールの増加だけでなく、地域住民や保護者等が学校運営や教育活動について協議し意見を述べる場が増えています。

私の研究成果は、これからコミュニティ・スクールを導入しようかと考えている学校や導入しさらに充実を図っていききたい学校、コミュニティ・スクールの導入まで行かないが、地域との連携による学校づくりの充実を図っていききたいという学校に役立てることができます。

私は、大学でコミュニティ・スクールの授業や研究とともに、平成24年から文科省からの委嘱でコミュニティ・スクール推進員(CSマイスター)として全国各地でコミュニティ・スクール導入に向けた取組を進める教育委員会や学校関係者等に対して、継続的かつきめ細かな助言・支援活動も行っています。

学校現場や教育委員会の方々とお話をする「地域とともにある学校づくり」の重要性・必要性は強く感じておられますが、その有効なツールであるコミュニティ・スクールについての理解は十分でないように感じます。コミュニティ・スクールの考え方や推進方策の具体的な情報を提供します。また、学校運営協議会委員としても参画することができます。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・文科省 CSマイスター(コミュニティ・スクール推進員)(平成24年度～)として、福岡県、佐賀県、山口県、大分県、熊本県の教育委員会、学校、PTA等で講演活動や指導助言 多数
- ・宇美町、春日市、福津市、大野城市、那珂川町での学校の学校運営協議会委員(学識経験者として参画)
- ・文科省委嘱事業/福津市とのコミュニティ・スクールの熟議と協働の充実に関する実践研究(平成25年度)
- ・文科省委嘱事業/福津市との「自律的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究」(平成26・27年度)
- ・春日市立日の出小学校(平成17年度)、新宮町立新宮東小学校(平成26年度)校長として、コミュニティ・スクールの立ち上げに寄与